

相手の望んでいる
事に気づいて私の
できる事を言う。

共に歩む/共に、相手を
知る事。そして、少しでも
肉わりを持つ事が大切
だと思う。
私の教会の信者さんの
名前を知らない事、国心を
持たない事を反省した。

まず教会の中で
お互いを知ることが
だいじで。
そこから外へ向か
ていく

フランシスコ教皇の生き方
が私たちにカトリックの
考えを示して下さった。
私たちも自分の生き方で
他へカトリックを伝える
ことができるのではないかと

教会を離れている
人への呼びかけや
訪問等も必要

教会の人だけでなく
地域の人、たちとの
協力等肉わりと
大切にする。

まわり人 しろにと
たがける。
みんなと11のり
カミエま。
おれかい
へいかわいさうに

教会の中でも。
みんなが重なること
ほたらくことほ
だいじ！
(外国の人と共に)

“わかち合う”
↓
小さな共同体
から始めていく
のこは... (相互理解)

話してみないと
分かんなかった
事がたくさん

ミサ後に
こうして、たくさん
話し合えたら
(共有)...
素敵な時間です。

難しく考えない
行動するのみ

命からあつたものを
ともに聞いて、心を
一つにして祈る。
立場の異なる人を
尊重し 共同体を
作っていく。

教会に来て、交流を
通じて、神様ととも
に又、聖霊のお導き
により信仰を深め
たい。
外に向けて出向いて
いく。

立場や
考え方を
尊重する。

信者同士
共に分かち合う
ことが自然に
できるようにする

信者が信頼しあい、
皆の教会にすることが
必要である。
難しく考えては
行動できないので、
声をかけ合っていく。

シノドスに
ついて
おつがしく
考えない

神様の何を
望んでおられる
かと常に
考える

信者同士の
理解を
深める

初代教会
と、現在の
教会との
差

神様の
望みは何か
祈り求めよう。

私の思いをはるかに越えに
神が「今」ここにふび集めて
下さっていることの不思議。
「神がここで、このメンバーで
何を望んでおられるのかを
聞く」ことが共同体の第一歩では

人々とおして語る神。
今、目の前にいる人々。
大切に、「心から聴く」
と人々とおして語る神
に会えるようだった。

他の人の
思い 行動背景
を思うことが
愛の初歩的
表現形
ともに歩む第一歩

共に歩む教会

教会に足も向けて
教会のまわりも見つめ
教会の奮闘気、人々も
みつめよう。
共に歩いていける
人々。信徒は、一人
でも良いので、教会に

- ・共に歩む教会
- * キリストのうちに、各々が召されている意識
- * 神は教会外にも働いておられる。私たちの使命は、キリストの心をもって参ることに
- * 具体的に、キリストの心をもって、いるか、具体化されているか、つまり心の平和謙遜で人々を愛しているか
- * 小さい火種をもって、伝えていく。手渡されたものを癒して...

同じ目的 行動様式

目的：正に平和に
ともに歩む

行動ベース：愛
個々の行動が
すべて 同じベース

技能学習者と
呼ばれる人と
共に歩む

若者に希望
を示す。
共に歩む

出会う人と
共に歩む
参加と共有
ある